

市民と野党の共闘で政治
を変えよう。憲法、くらし、
平和を大切にする都政を

都民がつくる革新都政

発行：革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
HP:https://www.kakushintosei.net
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部 25円、送料は別途)

参院選・都議選に向け 呼びかけ人会議を開催

5月28日、「市民と野党の共闘で都政転換」をめざす
呼びかけ人会議が「参院選・都議選 政治を変えよ
う！政治を都民の手にとりもどそう！ 呼びかけ人
会議」を開催しました。

会議は、目前に迫った都議選と参
院選を市民と野党の共闘でたたか
うことをめざしたもので、浜矩子
（同志社大学名誉教授呼びかけ人代
表が「2025年の日本の真像」を
テーマに講演をおこないました。



「いつわりやかざりを取り除いた真
実の姿」と紹介した上で、異常物価
や米不足問題などを通じた日本の
政治状況を分析。「今の日本の政治
と政策は、日本の真像に向き合う
ことを拒否している」「日本の虚像
すなわちまがい物の日本の姿を追
い求めてばかりいる」と批判。「本
当にこの真の姿をきちんと見据え
ることができるといえる政治と政策が出現
してくるといえることがまさに今回
の都議選・参院選の次に今向かって
の大きな課題である」と訴えました。

2025年度東京都予算の分析
を末延渥史呼びかけ人会議事務局
がおこない、小池都政がすすめる
「稼ぐ都市」⇨超高層ビル開発によ
る東京大改造の実態の告発と都民

目線からの財界ファースト・都民置
き去りの2025年度東京都予算
の分析をおこないました。
また、大田、江東、練馬、北練
馬、町田などでとりくまれてい
る市民と野党の共闘組織の代表から
地域での再開発の現状やくらし・福
祉など小池都政とのたたかいが報
告されるとともに、江東市民連合の
代表から、4人区の江東区で立憲
民主党と日本共産党の候補者の出
席のもと都議選政策を発表する集
会を開催することなど、各地での
取組の交流がおこなわれました。

市民と野党の共闘で奮闘してい
るフェミブリッジ東京とChan
g都政市民プロジェクト(賛同：市
民連合・呼びかけ人会議)が、都議
会開会日の6月2日、新宿駅南
口で「金権政治にNO! 裏金自
民都議さよならアクション」を開
催し、市民がマイクを持ち、
つぎつぎと市民がマイクを持ち、
国会だけでなく都議会にもあつた
裏金汚染を告発、永山利和呼びか
け人代表やフェミブリッジ東京の
西山千恵子さんが裏金都議たちに
は都議会を退場してもらいましょ
うと訴えました。

立憲民主党、日本共産党、社民党
生活者ネット、緑の党、新社会党な
ど6野党から連帯のメッセージが寄
せられました。

第21期最後の議会となる第2
回都議会定例会が2日から開催さ
れました。この議会は都民が直面
している異常な物価高騰、米不足、
生活の困窮などから都民生活を守
るといふ課題が課せられた重要な
議会でした。ところが小池都知事
は所信表明で、日本と東京をとりま
く状況を「国難とも言うべき危機」
といい「都民を守り抜いていきます」
と表明したものの、都民が一番求
めている物価引き下げのための対策
や低所得者のための生活支援、中小
業者への経営支援などには一言も
触れず、1兆6000億円(減債基

金を除く)を超える基金のため込み
があるのに、手をつけず、わずかに
386億円(基金の0.02%)の
水道料金の基本料を4ヶ月間免除
する補正予算で済ませようとして
いるのです。これで良くも「都民を
守り抜く」などといえたものです。
さらに、許されないことに、今回の
水道料金免除は、お台場の巨大噴
水に対する都民の批判をかわすた
めのパフォーマンス予算であり、
噴水を止めて、現在、10万世帯を
超えて給水が停止されている世帯
に通水することこそが「都民を守
る」ことに他なりません。

新宿で裏金自民都議
さよならアクション

都政改革の旗印 「都民がつくる革新都政」が500号を迎えました。

革新都政をつくる会の機関紙「都民がつくる革新都政」が1982
年6月15日の創刊号以来、今号で500号の発行となりました。

1967年4月16日、日本の首都東京に革新都政が誕生しました。
それから12年間、「明るい革新都政をつくる会」は、圧倒的多数
の都民の声を結集して、都民要求の実現と都知事選挙の推進母体
として活動してきました。しかし、79年都知事選で敗れ、鈴木保
守都政となりましたが、反都民的な都政の強行に革新都政再建の
声が高まり、革新分断の策動を乗り越え、あらたに「革新都政再
建をめざす各界連絡会」を1982年5月15日に結成。その機関紙
として「都民がつくる革新都政」が創刊されました。そして、都
知事選をたたかう「ふたたび革新都政をめざす会」は、機関紙
「都民がつくる革新都政」の継承を確認。第58号発行から「革新
都政をつくる会」の機関紙として、今日に至っています。

革新都政後、鈴木、青島、石原、猪瀬、舛添、小池という6人
の知事のもとでの都民要求実現のたたかいと都知事選への挑戦は、
都政転換をめざす統一戦線としての市民と野党の共闘を生み出
してきました。

機関紙「都民がつくる革新都政」の継続的発行と紙面は、これ
らの持続的なたたかいへの確信を広げ、革新都政をつくる会が果
たす役割を証左するものとして存在力を示してきました。

いま、都民のいのち、くらしの叫びに背を向け、財界ファース
ト・都民置き去りの都政をすすめる小池都政の転換をめざすた
たかいの中で、革新都政をつくる会が各団体・地域とともに練り上
げた政策や、憲法と自治が輝いた「革新都政」の都政運営への関
心が広がっています。創刊500号に至る多くの先人の努力を引き
継ぎ、新たな発展を団体・地域、幅広い市民のみなさまととも
にめざす決意です。

事務局長 中山伸

都民置き去りの都議会第2回定例会

第21期最後の議会となる第2
回都議会定例会が2日から開催さ
れました。この議会は都民が直面
している異常な物価高騰、米不足、
生活の困窮などから都民生活を守
るといふ課題が課せられた重要な
議会でした。ところが小池都知事
は所信表明で、日本と東京をとりま
く状況を「国難とも言うべき危機」
といい「都民を守り抜いていきます」
と表明したものの、都民が一番求
めている物価引き下げのための対策
や低所得者のための生活支援、中小
業者への経営支援などには一言も
触れず、1兆6000億円(減債基

金を除く)を超える基金のため込み
があるのに、手をつけず、わずかに
386億円(基金の0.02%)の
水道料金の基本料を4ヶ月間免除
する補正予算で済ませようとして
いるのです。これで良くも「都民を
守り抜く」などといえたものです。
さらに、許されないことに、今回の
水道料金免除は、お台場の巨大噴
水に対する都民の批判をかわすた
めのパフォーマンス予算であり、
噴水を止めて、現在、10万世帯を
超えて給水が停止されている世帯
に通水することこそが「都民を守
る」ことに他なりません。

市民と野党の共闘で奮闘してい
るフェミブリッジ東京とChan
g都政市民プロジェクト(賛同：市
民連合・呼びかけ人会議)が、都議
会開会日の6月2日、新宿駅南
口で「金権政治にNO! 裏金自
民都議さよならアクション」を開
催し、市民がマイクを持ち、
つぎつぎと市民がマイクを持ち、
国会だけでなく都議会にもあつた
裏金汚染を告発、永山利和呼びか
け人代表やフェミブリッジ東京の
西山千恵子さんが裏金都議たちに
は都議会を退場してもらいましょ
うと訴えました。



新宿で裏金自民都議
さよならアクション

* 青い空 *

やっばり都議選につい
て書く。22日投票
の都議選が迫っている。
今まで以上にどの政党
を選択するかが問われ
ると思う。一見、反自
民、反小池と都民の目
につけている政党の
立候補が大量にみられそう
だから。都議会に議席をもた
ない国政政党、都議選をまえに
きた新党。有権者にとって選
肢が多い。政党の政治姿勢をき
ちんとみまわりたい。▼都は5
月20日、水道料金の基本料を
6月から(地域によっては7月
から)4か月間無料にする
と発表した。物価高による家計の負
担を軽減し、その分、エアコン
の使用を促して熱中症対策につ
なげることを目的とする、とい
う。4ヶ月の限定的措置でなく、
通年ぜひ実施してもらいたい。
▼この発表の前から、「物価高
から都民生活を守る緊急要求」
の項目に「水道料金の10%値
下げ」をかかっていた政党があ
る。知事の発表直前に水道料金
値下げを申し入れた党がある。
明らかではないだろうか。▼学
校給食の無償化、シルバーク
パス、値下げ、裏金議員の議
会政治倫理条例検討委への招致
のいづれにも反対したのは自
民、公明、都民ファーストの
会派だ。▼私の願いを提案し、
実現に尽力する政党に一票を
託したい。(の

都民が主人公
の都政を実現しよう

都議会議員選挙

6月13日(金)告示
22日(日)投票

ひろがる都民のたたかい

第2回都議会定例会前リレートーク

22日 都議選でいのち・暮らしを守る都政を



都議会議員選挙を目前にした第2回定例都議会前リレートークが、5月29日、東京都庁舎前でおこなわれ、仕事を終えた都職員や通行中の都民に、小池都知事による財界ファースト・都民置き去り都政を告発するとともに、6月13日告示でたたかれる都議会議員選挙で市民と野党の共闘の勢力への支持を訴えました。

都議選前最後の都議会第2回定例会(6月2日開会)にむけて切実な都民要求実現、都政転換をめざし、5月29日、都庁前で革新都政をつくる会都民宣伝・リレートークをおこないました。各団体の代表が都民の実態と都民置き去りの都政を告発、真の都民の代表としての都議会の実現を呼びかけました。

新婦人本部
会長・佐久間千絵さん
都議会で公共交通の確保や選択制夫婦別姓の実現を求める都民の請願を自民党などが不採択にしたことを紹介。「どの政党、どの議員が都民の要求を受け止める立場に立つか。都議選で見極めよう」と訴えました。

東京都教職員組合
木下雅英さん
教育現場で教職員不足が年々深刻になっている。教職員定数増、少人数学級拡大を求めるとりくみを強める。教職員の長時間過密労働も依然深刻。「現在国会で審議されている政府案では改善されない」と訴えました。

東京民主医療機関連合会

事務局長・西坂昌美さん
物価高騰と診療報酬の引き下げで、都内の多くの病院が赤字経営の危機に直面している。都民の運動が実って、都は予算に民間病院支援を盛り込んだ。「地域医療を支える病院を守る都政を実現しよう」と呼びかけました。

自由法曹団東京支部
幹事長・久保木亮介さん
住居を失い、自己破産に陥る相談が若い世代から増えている「再開発で大型ビルを建設するのではなく、家賃補助で低所得の人も生きていける政策を掲げる政党に伸びて欲しい」と述べました。

革新都政をつくる会三多摩連絡会

賛成止正さん
三多摩格差の実態と是正を求め、声をあげ運動してきた。三多摩各地で問題になっている路線バスの廃止・減便問題、学校統廃合問題を

保健所増設を都議選の争点として運動をさらに広げる」と決意を述べました。

都立病院の充実を求める会

渡辺暢子さん
都立・公社病院の独法化強行以後、医師、看護師、薬剤師などが不足し、救急が受けられない診療科が生まれているなどの深刻な実態を生み出している。都立病院を直営に戻して欲しい」「医療は人権、国・自治体は責任を果たせ」と訴えました。

東京都生活と健康を守る会

事務局長・阿久津達也さん
共働きでも低賃金で家賃が払えない人がいる。都営住宅は倍率が高くて入れない。都民の深刻な住宅実態を直視せず、都営住宅建設に背を向け続ける小池都政を告発し、暮らしを守る都政への転換を訴えました。

東京自治体労働組合総連合

委員長・矢吹義則さん

都庁で働く最長で5年しか雇用契約をしない「会計年度任用職員」の働かせ方について告発。格差と貧困が広がるなかで、莫大な都の予算をどのように使うかが都議選で問われていると訴えました。

日本共産党都議会議員団

原のり子都議(北多摩4区)

市民と野党の共闘、多くの都民団体や都民と連携して都民要求実現に取り組み前進させてきたことを報告。「都民が動けば都政を変えられる。自民党の裏金政治や財界ファーストの都政を変えるために全力を尽くしたい」と表明しました。最後に訴えに立った中山伸革新都政をつくる会事務局長は、目前に迫った都議選で「財界ファーストを転換し、都民が本場に大切にされる都政、いのちと暮らし、教育、平和が守られる都政を実現していく、そのための都議会を実現する選挙にしよう」と訴えました。

江東市民連合が政策要望発表

立憲・共産の候補が実現に向け頑張ると表明



市民と政治をつなぐ江東市民連合(江東市民連合)は5日、都議選に向けて「江東区から都政を変えよう---都政を学び、政策要望を実現するつどい」を開きました。

「つどい」には55人が参加。第一部で末延渥史氏(呼びかけ人会議事務局)が小池都政が巨大開発優先に都政を大きく歪めてきた実態、改革の方向を明らかにしました。

第二部で、江東市民連合が同日発表した「物価高から住民生活を守り賃上げを」など10本の柱からなる政策要望を岡田光司事務局長が一つひとつ紹介、これらを実現するために市民と野党の共闘を大事に頑張る候補者を支援したい、と述べました。

日本共産党の大つきかおりさん、立憲民主党の千葉さきえさんは、政策要望書の実現に頑張ると表明しました。大つきさんは区議会、都議会で日本共産党が市民の運動と連携して実現に力を発揮してきた実績を語り、千葉さんはなぜ政治家を志すようになったかを生い立ちを交えて語り、子育てなど政見を語りました。

宇都宮健児共同代表があいさつで、「お二人を何としても都議会に送り出すために頑張っていきたい」と表明しました。今後、お二人を支援候補者として、街頭演説の日程をSNSで共有し、シールアンケート行動などに取り組みます。

江東市民連合は統一候補支援の経験は積んできましたが、野党の複数候補が立候補する選挙での支援活動は今回が初めてです。そこで5月21日、「市民連合めぐろせたがや」共同代表の鈴木国夫氏を講師に勉強会を行い、同月26日の世話人会で都議選の基本方針を確認し、6.5つどい参加を呼びかけてきたものです。

岡田光司(江東市民連合事務局)

遅々として進まぬ復旧・復興①

全国災対連が能登半島災害調査

全国災対連が5月15日に地震の被災から1年5ヶ月を経た能登半島災害調査を実施しました。またこの調査と連携して新建築家技術者集団が前日の14日から調査を実施。東京災対連はこの二つの調査に参加して、主に能登半島西海岸の七浦・皆月地域と大沢港、民医連の輪島診療所、山あいの米耕作地を現地の方の案内で訪問しました。

最初の訪問地は海岸が4mも隆起し海岸線が海側に200m移動した七浦(しつら)地区で、「七浦地区再生会議」のみなさんと懇談。被害の状況や甚大な被害を受けた地区の再生などについて報告を受けたのち、真塚で有名な皆月海岸にそつ

て。家屋が解体された通りや9月の豪雨の氾濫で倒壊した家屋を調査しました。(1)(2)その後、北上して大沢地区の大崩落地(3)を経由して、港が5mも隆起しボランティアの力で小型船が係留できる水路がつくられた大沢港を視察。(4)翌日は、全労連が現地に開設している支援センターで現状の報告を受け(6)、被災者の救護に大奮闘された民医連の輪島診療所です。タツフの方と被災した患者の方と懇談。農民連のスタッフの案内で山の頂上近くの田んぼを訪ね、地震で田んぼが傾いたため田んぼを2枚に分けて田植えをしている農民連の会員の方から話を伺いました。(5)

